

第1課 挨拶

<STEP(1) 挨拶の意味>

会社や学校などの日常生活の中で、挨拶を一日中一度もしないで過ごすことができるだろうか。それは不可能だろう。もし、知り合いが私に挨拶をしなければ「私に怒っていることでもあるのかな。」「なぜ私を無視するのか。」「なぜあんなに行儀が悪いのか。」と考えるようになる。このように、挨拶は日々の生活の中で欠かすことの出来ない重要な行動でありながら、人を評価する一つの物差しにもなる。

このような挨拶の形式は、文化ごとに異なり、状況により異なる。ある国では、鼻をこすったり、肩を叩きながら挨拶をする。また、ある国では、両手を合わせたり、抱き合ったりもする。韓国や日本では大概、頭を下げながら挨拶をするが、状況によっては頭を下げる角度が違ってくる。普通、挨拶をするときは頭を軽く下げるが、デパートやホテルなどお客様に対しては、上半身を45度くらい下げることもある。

このように、挨拶の仕方は異なるけれども、共通する点がある。全ての挨拶には相手を尊重する気持ちがこもっているのである。もし見慣れてない国へ行ったとしても、知らない人と挨拶をすれば、その人達と簡単に親しくなれる。このように挨拶には見えない力があるのだ。

しかし、毎日会う家族の場合はどうだろうか。私達は、いつもそばにいる家族にはなかなか挨拶しない場合が多いようだ。朝目が覚めて一番最初に会う家族に、明るい表情で凛々しく挨拶をしているか、または、夕方家に帰ってきた家族を嬉しく迎えながら挨拶をしているか、一度考えてみる必要がある。家族にも挨拶をしていると、普段忘れがちな尊重の気持ちがよみがえり、さらに自分自身も幸せになるであろう。

<STEP(2) 会話>

(様々な国の挨拶方法について、友達の間で話している。)

洋子：この間、テレビを見ていたら、ある国では初めて会った人と鼻を擦りながら挨拶を交わしていたんですよ。

ウニョク：私もその番組見ました。ニュージーランドでしだっけ、ある国では原住民たちが目を大きく開けて、舌を出して挨拶をしていましたが、それも見ました？

洋子：はい、とても面白くて不思議でした。

ウニョク：国によって挨拶方法がそんなにあるとは思わなかったです。

洋子：そうですね。私は最近ヨガを習っていますが、そこでは両手を合わせて「ナマステ」と挨拶をするんですが、ただ頭を下げながらお辞儀をするより、なんとなく心が落ち着くような気がしました。

ウニョク：そうですか？あ、そうだ！ところで、洋子さん、今度うちの学校で外国人を招いてお祭りをするんですが、来られますか。たぶん色々な国の人々に出会えると思いますよ。

洋子：どの国の人たちが来ますか。

ウニョク：大体留学生たちです。中国や韓国そして東南アジアの人々も来るし、ヨーロッパ人もかなり来みたいですよ。あ、この間会ったジュリアンさんも来るそうです。

洋子：あ、一緒に花見しに行ったあのフランス人も来るということですか。

ウニョク：はい、ジュリアンさんが是非洋子さんも呼ぶようにと言っていましたよ。

洋子：じゃ、行かなきゃですね。

ウニョク：ところで、フランスでは挨拶のとき、ハグしながら軽くほっぺたを擦ると聞きましたが、私達も一回練習してみませんか。

洋子：何ですか、もういいですよ。

第2課 敬語

<STEP(1) なぜ尊敬語を使わなければならないのか?>

「おじいさんのお具合が悪いです。」

「お父さん、おなかが空いていらっしゃいませんか。」

「先生、伺いたいことがあります。」

韓国語では、このように日常生活の中で目上の人に対していつも尊敬語を使う。尊敬語は目下の人が目上の人に慎み敬う心を表すために使われる言葉である。よって両親と目上の人には尊敬語を使ったほうが自然である。しかし最近の子供や若者たちを見ると、自分の両親に「ため語」を使う場合が多い。

そもそも尊敬語があまり発達していない言語も多い。アメリカ人やフランス人は場合によって、お母さんとお父さんの名前を呼び、両親と砕けた態度で過ごしたりもする。また、尊敬語が発達した日本でも、年齢差が大きくても一度親しくなったら尊敬語を使わないし、特に、両親にはあまり尊敬語を使わない。このような他国の例を取り上げ、(韓国でも)みんなため語を使おうという意見もある。あるいは、親と親しくなろうとしたら、尊敬語よりため語のほうがいいという意見もある。

しかし、「形式が内容を支配する」という言葉がある。普段の言葉と行為が考えを変えることができるということである。学生達が制服を着て、僧侶が頭を丸めることも、このような形式の一つであろう。したがって、「尊敬語」を使うということは、「目上の人に対する敬意と愛の心」という内容を、「尊敬語」という形式に込めて表現することである。したがって、このような尊敬語は生活の中へ取り入れることが重要である。「三つ子の魂百まで」と言われるのではないか。尊敬語を使うことを軽く考えてため語を使ったら、目上の人を敬う心を失ってしまう。尊敬語を使うことは相手を尊重する礼儀正しい人格の出発点とも言える。尊敬語は慎み敬う心を入れる器であるからである。

<STEP(2) 会話>

(お祖母さん、お父さん、孫が集まって、話をしている。) 孫は女の子

お父さん：お母さん、ただいま。ヂヒョン、パパだよ。

お祖母さん：お父さん、お帰り。今日もご苦労さま。

お父さん：いいえ、ご苦労様なんて… いつものことですから。

孫：お父さん、お帰りなさい。

お父さん：さて、テストは上手くいった？

孫：テストはまあまあでしたよ。

お父さん：そうか。とにかく、ヂヒョンもお疲れ様。

お祖母さん：ね、お腹空いたでしょう。夕飯の支度しておいたから、早く食べなさい。

孫：お祖母ちゃんもお腹空いていらっしゃるんじゃないですか。早く召し上がって下さい。

お父さん、お父さんもいらっしゃって、食事なさって下さい。

お祖母さん：私もお昼が早かったから、お腹空いたね。じゃ、早く食べよう。

お父さん・孫：いただきます。

お祖母さん：お母さんは旅行楽しいと言ってるの？

お父さん：はい、ご飯はちゃんと食べているのかと、むしろ私たちの心配をしていました。

お祖母さん：あら、まあ、久しぶりに旅行しに行ったんだから、楽しまなくちゃ。

心配なんて要らないのに。

お父さん：そうですね。

孫：お父さん、お母さんは楽しいそうですか。

お父さん：うん、ママは初めて日本に行ったから、楽しいことがたくさんあるそうだよ。

ママが今度お母さん連れて一緒に行こうと言っていましたよ。

お祖母さん：こんな年寄りが旅行なんて、私は大丈夫だよ。

孫：お祖母ちゃん、何をおっしゃっているんですか。

今年の秋に一緒に旅行行きましょうよ。

お父さん：そうですよ。話が出たから、今年の秋はうちの家族皆で旅行行きましょう。

お祖母さん：では、久しぶりに皆で旅行行こうか。

お父さん：そうですね、お母さん。私が明日すぐ調べてみますよ。

孫：わー、やった！本当に久しぶりに家族で旅行行けそうですね。

第3課 依頼

<STEP(1) 友達に依頼する際 - 韓国語と日本語の違い->

日本に来て一年ほど経った時のことである。ある日、親しい日本人の友達を家に招待したことがあった。その友達は韓国に関心があって韓国語を一生懸命勉強していた。ある日、家で長話しをしている途中、(その)友達が「トイレをちょっと貸してください」と言った。私は「もちろん貸しますとも」と言ったが、心の中で「トイレを貸してちょうだいって？どこへ持っていくということなの？」と思った。こういうとき、韓国語ではどのように言うのがいいだろうか。逆にこのような状況で、韓国人は日本語で何と言うだろうか。次のグラフを見ながら一緒に考えてみよう。

上の研究によると、友達の家でトイレに行きたい時、日本人は大抵了解を求めるけれど、韓国人の場合は、日本人に比べ何も言わずトイレを使う場合が多いという。韓国人が了解を求めるために話すときは、日本人のように「貸してちょうだい」と言うより、「トイレはどこにあるか」と尋ねる場合が多いだろう。

このように、他人に何かを依頼したり、許可してもらいたい時に使われる韓国語と日本語の表現をみると、似ている点もあるが異なる表現も多い。

例えば、「ちょっと使いましょう」「ちょっと借りよう」のように、他人を誘う時に使われる表現を始め、親友には「私ちょっと使うよ」のような表現で物を借りて使うこともある。もちろん、このような表現は相手とどんな関係であるか、また、何を借りるかによって違ってくるが、日本語とはその表現の仕方が違うということが分かる。

このような表現の違いを理解すれば、上のエピソードのような状況でも慌てず相手を理解するのに役に立つであろう。

<STEP(2) 会話>

(韓国語を勉強している日本人が韓国人の友達と一緒に話している。)

ジュンス：韓国語は伸びましたか。

麻美：伸びるなんて…まだまだですよ。学ぶほど面白いですが、曖昧な表現が多いと思われま。

ジュンス：そうですね。私も日本語を勉強していた時にそうでした。先に韓国語で韓国

語で(두 번 들어가 있음)考えて、それを日本語に直訳するから、通じることは通じるけど、日本語ではそういうふうには言わないと指摘されることが多かったです。

麻美：初めて韓国語を習っていた時には、韓国語が簡単だと思いましたが、もう簡単ではありませんね。

この間、韓国人の友達の家遊びに行きましたが、一緒に食事をしていて、私がティッシュを使ってもらいながら話を聞きました。そうしたら、その友達が何でそんなことまで聞くのかと言ったんです。何も言わずに使えばいいのにといいながら。

ジュンス：あ、そうですね。逆に私は日本人の友達とレポートを書く時に机の上に消し

ゴムがあって、何も言わずに使ったら、友達がちょっと驚いてたみたいですよ。最初、私は何でそんなに驚くのかと気になっていたんですが、知らないふりをしました。今思うと、使ってもいいかと一言言えばよかったのに、失礼なことをしたと思います。

麻美：言葉でどういうふうに表示したらいいかと考えなくてはいけません、言葉が本当に要るのかについても、考えなくちゃ行けませんね。

ジュンス：そんなことがあるというのに今までは全然気づきませんでした、外国語を学びながら自分の母国語も見直すようになると思います。ところで、麻美さん、ちょっと消しゴム使ってもいいですか。

麻美：何で、そんなことまで聞くんですか。何も言わないで、使ってくださいよ。

ジュンス：ハハハ、もう麻美さんもすっかり韓国人になりましたね。

第4課 提案

<STEP(1) 生活の中での資源リサイクルで経済を生かそう>

最近、環境部では「資源循環社会」を目指し、環境法を見直しているところだという。過去には廃棄物処理が重要であると考えていたが、今は資源を節約しようという政策に変えようとしているのである。

このような政府の政策にしたがって、民間でもいろいろと資源循環の為の努力をしている。その中でも私たちが注目すべきことは、生活の中で実践可能なリサイクルだといえる。

例えば、現代人の生活で欠かせない携帯電話。この携帯電話の寿命は平均2年ぐらいだという。寿命が尽きた携帯電話は、ふつう引き出しの中にしまっておいたり、ごみ箱に捨てるようになる。しかし、部品の大部分が重金属である携帯電話を、ただ捨てるのは環境汚染の主原因になる。このような携帯電話を代理店に持っていけば、安全に処理してくれるだけでなく、主要部品はリサイクルされるなど環境保護に役立つ。

なお、家電製品や家具などを新しく購入した時の包装用の紙箱やスチロールなども、ただ捨てられる場合が多い。特にスチロールは人体に有害であり腐敗しない為、分別回収が必ず必要だ。このため、最近配達員が包装用品を回収してリサイクルをするなどの制度もある。

このような私達の積極的なリサイクルは経済的な効果も期待できる。去年リサイクルで得た収入は1兆7千億ウォンに達する。資源の大部分を輸入している韓国では、紙、ガラス瓶、プラスチック、缶類などのごみを1%リサイクルするだけでも約639億ウォンの外貨を節約できる。

自然資源が不足している我々の状況を解決するためには、分別なく捨てられるごみをできるだけ減らし、捨てられたごみが価値のある資源として使われるようにしなければならない。その為には、各家庭で紙、ガラス、缶類、ペットボトルなどを集め、廃棄物のリサイクル率を高める小さな実践から始めなければならないだろう。

<STEP(2) 会話>

(下宿のおばさんが日本人の留学生にゴミの分別について説明している)

おばさん：お！おはよう。ゴミ捨てるの？

山本：はい、おはようございます。昨日友達が遊びに来て、色々料理した食べたら、ゴミがたくさん出てきましたので。

おばさん：あ、そうなんだ。しかし、そうやってゴミを混ぜて捨ててどうするの？分別して捨てなくちゃ。

山本：あ、そうなんです。私がよく知らなくて、こうなってしまったんですが、韓国ではゴミの分別はどうしたらいいですか。

おばさん：韓国では紙と生ゴミは別々に捨てなくちゃいけないのよ。ちょっと見せて。ほ
ら、紙は紙で集めて「資源ゴミ」を捨てる日に捨てなくちゃ。そして、生ゴミは別
に集めてあそこに生ゴミを捨てる大きいゴミ箱あるでしょう？そこに捨てなくちゃ。
生ゴミを入れていたビニール袋はその隣のゴミ箱に捨ててね。

山本：はい。私が住んでいた所では紙と生ゴミは全部まとめて「燃えるゴミ」として捨ててもよかったんで
す。それで、韓国も同じかなと思っていました。

おばさん：韓国では、生ゴミは豚のような動物の餌として使ったりもするのよ。だから、こうやって爪楊枝
みたいなものを一緒に捨てると危ないわけ。今度からはちゃんと分別して捨ててね。

山本：はい、分かりました。カンや瓶のような資源ゴミの出し方が日本と韓国が似ていて、燃えるゴ
ミの出し方も同じだと思っていたら、韓国の方がもずっとややこしいですね。

おばさん：全部環境のためにやっていることだから、皆協力しなくちゃね。だから、韓国ではスーパーやデ
パートで物を買うときに、ビニール袋もお金を払って買わなきゃならないのよ。

山本：そうですか。ビニール紙をお金払って買うなら、エコバックを持って行った方がいいでしょうね。お
金も節約できて、環境も守れますから。こういうのを「一石二鳥」と言いますよね。

おばさん：お、四字熟語もよく知っているし、韓国語ずいぶん伸びたね。

第5課 記事

<STEP(1) 黄砂の原因と国際協力>

2002年4月8日。朝鮮半島で太陽が見えなかった。中国とモンゴルの砂漠から飛んできた土埃が朝鮮半島の
空を覆ったのである。2002年最悪の黄砂以降も、毎年春になると韓国は黄砂でひどく苦しんでいる。黄砂で
飛んできた土埃は、目に入るとかゆく涙が出て目が腫れたり、よく目やにができるようになる。また、埃風
によってアレルギー鼻炎患者の症状はさらにひどくなる。そして皮膚がかゆくなったり皮膚炎が生じたりも
する。この埃風には土だけでなく、体に有害な各種重金属が含まれているので、さらに悪い影響を及ぼす。

本来、黄砂は中国とモンゴルで発生した土埃が、春に強い風に乗って、朝鮮半島の方へ飛んでくる自然現
象である。しかし最近では、モンゴルの分別ない木の伐採と牧畜の増加、そして中国の産業化による大気汚染
によって黄砂がさらにひどくなっている。

これに対し韓国政府と民間企業は、中国とモンゴルの砂漠化防止のため努力している。韓国の環境団体も
中国及びモンゴル政府と協力して「木を植える運動」をしている。しかし皆、黄砂の深刻性は認識している
が、様々な理由で韓国、中国、モンゴル、日本の政府間の協力はまだ容易でない。

黄砂は中国、モンゴルだけの問題ではなく、近くにある韓国、日本にまで影響を及ぼしているため、東北
アジア全体の重要な問題であることを忘れてはならない。したがって、4カ国政府の具体的で積極的な対策が
要求される。

<STEP(2) 会話>

(会社で木を植えるボランティアに行く前に、金代理と李部長が話しをしている)

代理は30代の女性、部長は50代の男性

金代理：部長、もうすぐ会議が始まると思いますが、会議室に行かれませんか。

李部長：行かなくちゃ。アナウンスが流れたら、行こうね。しかし、金君、最近何であんなに目が赤いの？

金代理：聞いて下さいよ。李部長もご存知の通りに、私は喘息があって、最近のような天気の人に外でちょ
っとだけ歩くだけで、咳が酷くなるので、本当に大変ですよ。李部長は大丈夫ですか。

李部長：最近私も目がかゆくて、いつも充血していて、大変だよ。金君もご苦労さんだね。黄砂がこんなに

どんどん酷くなっていくから、今回私たちが砂漠に木を植えるに行くことになったんだよ。

金代理：私たちが木何本か植えるだけで、黄砂がなくなるでしょうかね。

李部長：「私がやるだけで」じゃなくて、「私からでも」という考えを持たなくちゃ。今すぐは目に見える成果はないかも知れないけど、こういう小さな努力が後で大きい結果を生むんだよ。

金代理：はい、分かりました。皆そういう志で今回のボランティアに参加するんでしょうね。

李部長：そう。皆そういうふうを考えてくれるなら、いいことだよ。ともかく、今回のボランティアに行く際の注意事項は何がある？

金代理：あ、後で会議の時にもう一度申し上げる予定ですが、マスクと手袋は必ず用意して下さい。そして、砂漠ですから、夜はとても寒いので、厚手のジャンパーも持って行くべきだと思います。

李部長：分かった。後で、会議の時にもう一度言ってくれ。

アナウンス：社員の皆様、今から会議室にお集まり下さい。

第6課 助言(アドバイス)

<STEP(1) 内臓脂肪型肥満>

■「内臓脂肪型肥満」とは？

- ・外に見える脂肪とは関係なく、内臓部位に脂肪が溜まる肥満。腹部が膨らむように出ることが多いので、りんご型肥満とも言われる。
- ・内臓に脂肪があまりにも溜まる場合、高血圧、糖尿病などにかかりやすい状態になり、これを医学的に「メタボリックシンドローム」と呼ぶ。
- ・日本政府で2006年5月、「日本の中年男性の2人中1人はメタボリックシンドロームであるかその可能性がある。」という内容が発表された後、メタボリックシンドロームに対する関心が高まっている。

■診断基準

- ・へそを中心に腹部周りを測定し、男性85cm以上、女性90cm以上なら、内臓脂肪型肥満の可能性がある。
- ・上記の条件とともに、体脂肪、血糖値、血圧が一定基準を超えると内臓脂肪型肥満に該当すると見做される。
- ・腹部周りが基準値以下であっても、個人によっては内臓脂肪型肥満の場合もあるため、1年に一度定期健診を受けるようにする。

■対処方法

- ・内臓脂肪は皮下脂肪に比べ溜まりやすい。しかし内臓脂肪は運動などで体を動かせば簡単に燃焼されるので、こつこつ運動をしたほうが良い。
- ・食べ過ぎや飲み過ぎなどはできるだけ避けるようにする。
- ・高脂肪の食べ物や間食などを減らし、野菜をたくさん食べたり、低カロリーの献立を生活に取り入れるなど、食生活の改善にも注意するようにする。

■関連商品

- ・脂肪分解を手助けしてくれる飲料水やダイエット食品および漢方薬などの医薬製品。
- ・家で簡単に体脂肪、血糖値、血圧などを測定できる各種機械。
- ・内臓脂肪燃焼の為の乗馬型運動機器、全身を実際に動かすことによって脂肪を消費するゲーム機およびソフトウェアなど。

<STEP(2) 会話>

(会社の定期健診の結果を見ながら、患者がお医者さんにアドバイスを求めている)

医者が女性、

医者：こんにちは。李サンソクさん。こちらへお掛けになって下さい。

李サンソク：はい、こんにちは。定期健診の結果が出たと聞いて来たんですが。

医者：はい、ちょっと見てみましょう。他のところは特に問題はないですが、お腹がちょっと出ていますね。

李サンソク：あ、はい。元々は痩せている方でしたが、入社してから接待が増えて、夜、お酒をたくさん飲んでいたら、お腹がどんどん出て来たんです。

医者：定期健診の記録を見ると、本当にそうですね。去年まではこれほどではなかったんですが、最近1年の間にぐんと太ったようですね。

李サンソク：はい、そうですね。やっぱり太ると健康にはよくないでしょうね。

医者：そうですね。お腹の周りの脂肪は大きく「皮下脂肪」と「内臓脂肪」に分けられますが、李サンソクさんの場合は内臓脂肪肥満に当たります。内臓脂肪肥満が慢性化すると高血圧や糖尿病など成人病にかかりやすくなります。

李サンソク：だったら、ダイエットでもしなくちゃですね。お腹周りをすっきりさせるためにいい方法がありますか。食事量を減らした方がいいでしょうか。

医者：内臓脂肪は皮下脂肪とは違って、比較的減らしやすい方です。内臓脂肪を減らそうと思うなら、単純に食事を抜いたり食事量を減らしたりするよりは運動をした方がいいです。定期的に軽くジョギングをしたり、歩く運動をしてみたらいかがですか。

李サンソク：はい、分かりました。実は動くことは嫌いですが、これを期に生活習慣を直してみますね。

第7課 相談

<STEP(1) みどり老人ホーム>

最高の環境／最高の立地条件

‘環境が良いうえに交通も便利です！’

私どものみどり老人ホームは青い森に囲まれていて、きれいな空気の中でいつも楽しく生活なすることが出来ます。さらに、都心から交通が便利な所に位置しているので、家族や親戚、知り合いの方々がいつでも立ち寄ることが出来ます。

<生活施設>

- ・健康施設完備：プール、ジム、天然温泉水サウナ
- ・24時間医療サービス実施：専門医が24時間待機しておりいつでも迅速な対応が可能です。
- ・図書館、休憩室、小講堂などの文化施設完備：読書を気軽に楽しむことができる図書館および休憩空間を設けており、小講堂では映画観覧も可能です。
- ・専用散策路、登山路の利用：緑の多い場所で澄んだ空気を吸いながら散歩やハイキングを楽しむことができます。
- ・各種文化プログラムの実施：書道および園芸、歌謡教室および韓国舞踊教室など、多様な文化プログラムを実施しております。

<入居条件>

- ・広さ：16坪／32坪
- ・入居資格：60歳以上の男女（夫婦は1人が60歳未満でも入居可能）
- ・入居：保証金2億8千万ウォン、月の生活費150万ウォン
- ・契約時の準備書類：住民登録証写し1部、写真2枚、判子、申請書、契約金

・入居問い合わせ：032 - 1234 - 5678

※現場訪問を希望される方はメールか電話で事前にお申し込みください。

<STEP(2) 会話>

(50代の女が、海外で老後を過ごしている60代の男と話をしている)

女：さて、外国での暮らしは如何ですか。

男：はい、初めは知り合いもいなくてちょっと寂しかったんですが、今は慣れたのかとても楽です。

女：お知り合いの方もあまり居ないようですが、毎日何をされながら過ごしていますか。

男：ゴルフをしたり、水泳をしたり、涼しいときは散歩もしたりしています。最近は何に韓国人も増えたり、韓国のスーパーや食堂もできて、そんなに寂しくもないですよ。

女：そこの生活費はけっこうかかりますよね。

男：いいえ、違いますよ。それぐらいのお金だと、韓国では食べて生きるだけでぎりぎりだと思いますが、そこでは家政婦に運転手さんまで付いていて、ホテル暮らし並みの生活ですよ。

女：お子さんたちに会いたいときは如何しますか。

男：それが、一つ欠点といえば欠点ですね。会いたくても会えないですから。しかし、韓国にいてもよく会えますか。最近は何もあるし、インターネットもあるし、会いたいときはすぐ連絡できますからね。

女：しかし、私の友達の中では、子ども近くに居たくて海外に行く代わりに、老人ホームに入るといふ人もいますよ。

男：そういう方法もありますよね。ところで、これから如何するつもりですか。

女：そうですね。ちょっと悩みます。今住んでいるところにちょっとお邪魔してみてもいいですか。

男：もちろんですよ。いつでも声かけて下さい。来られたら、うちの妻も喜ぶでしょう。ゴルフのついでにいらして、下見もしてみして下さい。

女：では、いつかちょっとお邪魔させていただきます。

第8課 意志

<STEP(1) 韓国成人男女の時代別職業選好度>

現在、地球上では約10万種余りに達する職業があるという。時代が急変するにつれ数十年前には存在しなかった職業が生まれ、今も新しい職業は増え続けている。このような変化による時代別成人男女の職業選好度を分析してみる。

<男性の職業選好度>

<女性の職業選好度>

時期	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1970年代	大企業社員	判事	銀行員	教師	銀行員	主婦
1990年代	医者、弁護士などの専門職	公務員	会社員	教師	公務員	会社員
2000年代	インターネット、IT関連職	金融系	医者	教師	インターネット、IT関連職	デザイン関連職

本格的な経済発展が始まった70年代は、建設業が大きく注目をあび、男性の場合、建設業種大企業社員が大きく人気を呼んだ。その後は、経済成長が加速化されて一般人の教育水準もだんだんと高まり、金融と保険業界を中心とした事務職が登場した。そして1990年代に入っては、男性が最も好む職業として医者、弁護士などの専門職が選ばれていたが、これは職業選択において経済力とともに社会的地位も一つの基準になっていることを表していると言える。2000年代に入ってから、インターネット、情報通信関連職などが上位を占めているが、これは、情報化、専門化が加速化している時代の流れの影響と捉えられる。

一方、女性の職業選好度の場合、時代とは大きく関係なく教師が1位を占めている。男女の差別が大きい教師という職業こそ、女性が自分の能力を思う存分発揮できる場だと思われるからである。

しかし、2、3位をみると、1970年代は銀行員などの安定的な職業から、2000年代に入ると男性と同じように情報通信関連職やデザイン関連職が上位を占め、女性の職業選好度においても、ある程度の時代の変化を窺うことができる。特にデザイン関連職などは女性の美的感覚を活かせる分野として脚光を浴びている。

このように、女性の社会進出がだんだん活発になっている中、今後、女性の職業選好度の1位は果たしてどのような職業になるか変化が注目される。

<STEP(2) 会話>

(卒業を目前にしている韓国の大学生と日本の女子大生が進路について電話で話している)

安カンミン：もしもし、麻紀子？

麻紀子：うん、カンミンだね。久しぶり。元気？

安カンミン：うん。ぼちぼち過ごしているよ。実は最近就職活動でちょっと忙しいよ。

麻紀子：そうだよ。もう私たちも卒業ですから就活しなくちゃね。どう？うまく行っている？

安カンミン：まあまあだよ。最近就活している中で、大変じゃない人はいないでしょう。君は？何かやりたいことある？

麻紀子：うん。実は私は会社のようなところに就職するつもりはないよ。実は舞台俳優になりたくて最近演技学校に通っているよ。卒業した後もアルバイトを続けながら、学校でずっとお芝居の勉強をするつもりなの。

安カンミン：そうなんだ。ま、日本はアルバイトだけでも食って行けるからね。しかし、韓国ではそれは不可能だから就職する人が多いよ。私の場合でも、軍隊を遅めに行って来たから、歳も歳だし、いつか結婚しようと思うときちんとしている会社員にならなくちゃいけないしね。

麻紀子：そうなんだ。日本は正社員になると責任も増えるし辞めるのも簡単ではないからアルバイトや非常勤で働きながら、自分の夢のために頑張る人もたくさんいるよ。ところで、就職はどの分野を考えているの？

安カンミン：そうだね。色々考えてはいるけど、私の専攻もパソコンだし、最近韓国はIT業界が人気だから、その方向で考えてみようと思っているよ。

麻紀子：そう？いいところを見つけるといいね。お互いに頑張ろう。

安カンミン：うん。君も頑張って必ず女優になってね。

麻紀子：うん、ありがとう。今度また連絡しよう。

安カンミン：うん、そうしよう。では、この辺で。元気でね。

第9課 伝達

<STEP(1) 役立つ生活の知恵>

Q&A掲示板

Q: 夫が会社で仕事中、服にボールペン（の染み）がついたそうです。ボールペンを消す薬があると聞いて使ってみました、消えないのですが、他にいい方法はないでしょうか。

A: ボールペンを消す薬でも消えないならば、この方法はどうでしょうか。まず、ボールペンの染みの上を虫刺されの液体薬で軽く叩いたり、アルコールを濡らしたガーゼで染みが付いた部分を叩くように拭き取ればきれいに消えます。ぜひ一度試してみてください。

Q: 今度の休暇に家族で旅行に行こうとしていますが、家が空いて植木鉢に水をあげる人がいません。花が枯れないようにする方法はないでしょうか。

A: 心配ですね。こういう時は植木鉢より少し高い位置に水の入った大きな器をおいて、細く長い布切れの一方の先を器の中に、そしてもう一方の先を植木鉢の土の中に埋めておいてください。水が布切れをつたって、少しずつ植木鉢の中に染み込み一週間位なら問題はないでしょう。

Q: 天気のせいなのか足にたくさん汗が出て、食堂のような場所で靴を脱がなければならない時に何度も気になるのですが、靴のにおいをなくす方法はありますか。

A: 足にたくさん汗が出る人は、季節を問わず足のにおいで苦勞することがたくさんあるでしょう。水虫がある場合ならなおさらですね。こういう時には靴の中に10ウォン銅貨を入れておけば、次の日、靴の中のおいがすっかり消えてさわやかに履くことができます。

<STEP(2) 会話>

(お祖父さんと孫が雨が降りそうな予兆について話している。)

孫は幼稚園児の女の子

お祖父さん: あ、シネちゃん。こっち来て、ちょっと祖父ちゃんの肩をもんでくれない?

孫: はい。祖父ちゃん、そんなに痛いですか。

お祖父さん: うん、こんなに節々が痛いを見ると、明日必ず雨が降ると思うよ。

孫: はい? 節々が痛いと言いますか。幼稚園ではアマガエルが鳴くと雨が降ると言っていたんですが。

お祖父さん: ハハ、そうそう、アマガエルの童話があるよね。雨が降るとお母さんのお墓が押し流されそうで、アマガエルが泣くというお話でしょう。

孫: はい、そうです。しかし、祖父ちゃんの具合が悪くても雨が降るの?

お祖父さん: うん。爺ちゃん婆ちゃんは腰や膝などが痛いと言ったら翌日雨が降る場合が多いよ。

孫: そうなんだ。そうしたら、アマガエルが鳴いたり、祖父ちゃんの節々が痛くなる以外に、雨が降ることをどうやって分かるんですか。

お祖父さん: じゃ、あそこ空を見るとお月様があるよね。しかし、雲がお月様を隠してぼやけて見えるでしょう。ああいうのを「タルムリ」と言うんだけど、「タルムリ」が出た翌日は雨が降るんだよ。

孫: お! やっぱり祖父ちゃん最高! 今日は祖父ちゃんの腰も痛いし、タルムリも出ているから、明日はきっと雨が降るでしょうね。ママが明日洗濯すると言っていたけど、止めさせようっと。

お祖父さん: そうしなさい。そして、お母さんに庭のかめの蓋も閉めてと言ってね。

孫: はい、分かりました。

第10課 感情

<STEP(1) 夕立>

土曜日だった。小川のほとりに着いたら、何日も見かけなかった少女が向こう側のほとりに座って水遊びをしていた。気付かないふりをして飛び石を渡り始めた。この間、少女の前で一度失敗をただけに、今まで大きな道に行くように渡っていた飛び石を今日は慎重に渡る。

「ねえ」

聞こえないふりをした。土手の上に立った。

「ねえ。これ何の貝？」

思わず振り向いた。少女の澄んだ黒い目と目が合った。すぐ少女の手のひらに目を落とした。

「絹貝」

「名前も本当にきれい」

別れ道に来た。ここから少女は下の方の道へ約9km位、少年は上の方の道へ約4km近く道を行かなければならない。少女が足を止めながら「あなた、あの山の向こうへ行ってみたことある？」

野原の先を指差した。

「ない」

「私たち行ってみない？田舎に来たから、一人で退屈で我慢できないの」

「ああ見えても遠いんだ」

「遠いといってもそんなに遠くないと思うんだ。ソウルにいたときはかなり遠いところまで遠足に行ったんだ。」

少女の目が「ばか、ばか」と言わんばかりだった。田んぼのわき道に入った。稲の収穫をしているそばを通り過ぎた。かかしが立っていた。少年が縄を揺さぶった。

<STEP(2) 会話>

(一人で物思いに耽る日本人の女性に友達である韓国人の男性が声をかけている。)

ジュンソ：何をそんなに考え込んでいるんですか。

亜紀：この間、「花」という詩を読んだんですが、まるで私の心を代弁しているかのようで、とても良かったですよ。あ、内容が思い浮かびそうで浮かばないんです。最初何だっけな…。

ジュンソ：あ、僕もその詩好きです。僕が詠んであげますよ。

花
金春洙

私が彼の名前を呼んで上げる前までは
彼はただ
一つの身振りに過ぎなかった。

私が彼の名前を呼んであげた時
彼は私に来て
花になった。

私が彼の名前を呼んであげたのと同じように
私のこの色と香に相応しい
名前を誰かが呼んでくれ。
彼の方へ行って、私も
彼の花になりたい。

私たちは皆
何かになりたい。
君は私に、私は君に、
忘れられない一つの目配せになりたい。

ジュンソ：亜紀さん！

亜紀：はい？

ジュンソ：僕が名前を呼んであげたので、もう花になりましたか。

亜紀：はい？も〜う、何なんですか〜。

第11課 説明

<STEP(1) (韓国伝統) お辞儀の仕方>

韓国ではお正月や祭祀の時に お辞儀をする風習があります。また、目上の人のお宅を訪問する時にもお辞儀をします。ただし、女性と男性のお辞儀をする方法がやや異なります。どのように違うか次の絵を参考にしながら読んでみましょう。

<女性>

- ① 女性は右手を上にして両手を合わせて、目上の人の前に礼儀正しく立つ。
- ② 合わせた両手を肩の高さへ上げてから、頭を下げ手の甲に額をつける。
- ③ 膝をつきながら座る。
- ④ 上半身を45度ぐらい前のほうへゆっくり下げる。この際、手は床につけない。

<男性>

- ① 男性は左手を上にして両手を合わせる。
- ② 両手を肩の高さへ上げて、左足を後ろに少し引きながら膝をつく。
- ③ 膝をつきながら床に手をつけて額を手の甲につける。
- ④ 上半身を起こして完全に立ち上がったあと、身体を半分かがめて挨拶をする。

<STEP(2) 会話>

(韓国人の男性と婚約者である日本人の女性が一緒に話しをしている。)

カンヒョン：来週、両親に挨拶に行くの忘れてないよね？

莉奈：もちろん。覚えているよ。

カンヒョン：しかし、韓国では目上の方に会うときはお辞儀をしなくちゃいけないよ。

莉奈：私もそれぐらいは知っているよ。テレビでたくさん見たし。

カンヒョン：すごいじゃん。ところで、君、お辞儀できる？

莉奈：私はできないわよ。オッパが教えてくれないと。私は一度もお辞儀なんかしたことないもの。

カンヒョン：女性のお辞儀ってどうだったっけ。左手が上だっけ、右手が上だっけ。いつもこんがらがっちゃう。

莉奈：オッパも知らないわね。いいよ。私が調べてみるから。

(数日後、彼氏の家に行き挨拶に行く。)

カンヒョン：おかん、私たち来たよ。お辞儀するから座ってね。

お母さん：お辞儀なんかしなくてもいいよ。偉いね。日本のお嬢さんがお辞儀をどこで覚えたの？

莉奈：テレビでやっていたので、覚えておきました。

お母さん：そうなんだ。莉奈ちゃんの話はこの子から、たくさん聞きました。

しかし、ご両親は何とおっしゃっているんですか。国際結婚だから心配しているでしょうね。

莉奈：いいえ。初めはちょっと心配していましたが、オッパに会ってから安心したのか、結婚式の日には私たちが決めていいと言っていました。

お母さん：あ、そうなんだ。だから、この子が莉奈ちゃんのご両親に挨拶に行き来てすぐ結婚するって言うていたんだね。ところで、日本では結婚式の準備は複雑ではないの？

カンヒョン：そうでもないよ、おかん。人によって違うけど、全部省略して婚姻届だけ出す人もいるよ。

お母さん：そうなの？でも、女性の意見も聞いてみないとね。私たち女同士でしゃべるから、あなたはちょっとひっこんでいなさい。

第12課 案内

<STEP(1) 水原華城>

皆さんは水原華城へ行って見たことがありますか。「華城」は朝鮮時代に建てられたお城で約200年前の姿がそのまま残っています。華城は朝鮮の22番目の王様であるジョンゾ（正祖）が、亡くなったお父さんの為に建てた城です。18世紀に建てられたため、他の城と比べれば歴史が短いですが、独特なデザインと機能が認められ1997年12月、ユネスコ世界文化遺産として認められました。

正祖は、不幸に亡くなったお父さんの為に、風水で良い土地だといわれる「水原」へ父のお墓を移すことになりました。同時に今の華城の所にお城を建て、住民たちを移住させて経済力を備えた新都市を作りました。

華城の西側には「八達山」が見え、東側には低い山が見えます。王様がいらっしゃった宮殿は八達山に抱かれている形になっています。華城の中には今でも水原川が流れていて、昔から城の中心の通りであった所は、今も水原市内の中心の通りとしてそのまま残っています。華城は城壁と宮殿、施設が復元され、今も水原の現代的な建物と調和を成しています。

宮殿には「華城行宮」と書かれている扁額がかかっていますが、この扁額は正祖が直接書いたものであると言われています。華城では正祖のお母さんの還暦祝宴も盛大に開かれましたが、今も華城の「奉壽堂」に行けば祝宴の様子をそのまま見ることができます。

新しい韓国の姿をご覧になりたい方は華城へ行ってみられたらどうでしょうか。華城の西側の部分は八達山にまたがっていて、東側の部分は水源市内全体のあちこちに残っているので、ゆっくり歩きながら観光するのが良いです。「華城列車」もあるので、歩いていくたびれたら列車に乗って見回ることもできます。華城では色々な文化行事も開かれています。ホームページをよくご覧になり、新しい韓国に出会ってみてください。

<STEP(2) 会話>

(韓国人と日本人が世界遺産について話をしている。)

吉田：ジナさん、水原の華城に行ったことがありますか。

ジナ：華城ですか。もちろん行ってありますよ。かなり有名ですから。

ところで、急にどうしたんですか。

吉田：今回はソウルではなくて、ちょっと目新しい所に行ってみようと思っているので。

それで、ネットで検索していたら、華城が世界遺産に指定されたところだということを知りました。

ジナ：はい、華城は韓国では珍しく、昔のままの姿がよく残っているお城なんです。そして、いくつかある城門の形が一つ一つ違うんです。もし、華城に行くならば、ゆっくり歩きながら、独特な城門を一つ一つ観察してみてください。

吉田：ぜひ華城に行ってみたいです。私は昔のお城を見るのが好きですけど、以前ハイデルベルクに行ったときも、中世時代に建てられたお城を見たんですが、今でもその姿が忘れられません。

ジナ：羨ましいですね。私はまだヨーロッパに行ったことがないです。もし私もヨーロッパに行くなら、ドイツに行って美しいお城をたくさん見たいです。あ、吉田さん！日本にも世界遺産に指定されている所がありますよね。

吉田：もちろんです。色々ありますが、その中で姫路城が断然と綺麗だと思います。

ジナ：姫路城ですか？

吉田：はい、兵庫県にあるお城ですが、世界文化遺産に指定されています。

ジナ：あ、聞いたことがあります。いつか兵庫県に行く機会があるなら、ぜひ姫路城に行ってみたくて思いました。姫路城はいつ行った方が一番いいですか。

吉田：姫路城に行くなら、4月に桜が咲くときに行ってください。桜の間に見える真っ白な姫路城がとても綺麗ですよ。

ジナ：そうなんですね。今年の春はぜひ姫路城に行ってみなくちゃですね。

第13課 推測

<STEP(1) シンオ洞邸宅窃盗事件>

▶事件内容

※2010年4月26日、シンオ洞の高級住宅地で午後4時頃、窃盗事件発生。被害者家族は40代後半の夫婦と高校生の娘、中学生の息子の4人家族。現在40代の家政婦同居中。

※貴金属と高級家電製品など、総額3千万ウォンに達する被害の発生。

※人命被害は無かった。

▶現場状況

※犯人は1階の窓ガラスを割って侵入したものと見られる。

※1階の居間には割れた窓ガラスがあちこち砕け散っており、数人のものと見られる足跡が残されていることから、単独犯でない可能性が高い。

※夫婦が使っている寝室と貴金属を保管する金庫の設置されている部屋、台所、家政婦の部屋、子供たちの部屋に侵入した痕跡がある。その他の来客用の部屋など空き部屋に侵入した痕跡はない。

▶目撃情報

※隣の家の50代女性である李某氏が、被害邸宅からガラス瓶が割れる音を聞いたと証言したが、窓が割れる音を錯覚したようである。

※同時間、近所で郵便配達をしていた金某氏の証言によると、黒い2トントラックが玄関前に止まっていたという。配達を終えて被害邸宅の前を再び通り過ぎる時はトラックが無かったという。配達時間は約20分程度。

※普段、被害者家族がいない間に家政婦の息子がよく邸宅を出入りしていたという。

▶捜査メモ

- ① 窓が割れた時、警報機が鳴らなかったことから、犯人は警報機をあらかじめ切ったものとみられる。警報機の位置を知っている人物なのか。
- ② 窓のすぐ下に置いてあるソファや家具が倒れたり乱れたりした痕跡が全く見られない。犯人は家の構造を把握していたのか。
- ③ 現場で発見された証拠品の中から、染めた長い髪の毛が出てきた。犯人の中に女性もいるものとみられる。
- ④ 事件当日の午前、被害者の親戚夫婦が訪問してお金を貸して欲しいと言ったという。
- ⑤ 被害者が経営している会社が、最近、経営難に悩まされていたという。

<STEP(2) 会話>

(姉弟が窃盗事件についての新聞の記事を見ながら、犯人について話をしている。)

弟：姉ちゃん、姉ちゃん！この記事見た？ちょっと読んでみてよ。

姉：何？あ、この間シノ洞で起きた邸宅窃盗事件でしょう。

弟：うん。まだ犯人が捕まらなくて、最近この事件がとても話題になっているじゃん。

姉ちゃんは誰が犯人だと思う？

姉：そうだね。この記事を見ると、犯人として一番有力な人はこの女でしょう。しかし、家電製品とかを盗んで行くためには、女一人だと大変だと思うけどね。

弟：そうでしょう？私もそう思うよ。やっぱり共犯者がいるんだね。

姉：確かにね。さらに、盗まれた物以外、他のものはそのままだったというから、たぶんこの家の構造をよく知っている人なんだろうね。

弟：そうだよね。私が思うにはやっぱり家政婦さんが犯人だと思うよ。何日間も連絡が付かないと言っているじゃん。

姉：本当にそうなのかな。記事を見るとお金を貸してくれと言っていた親戚たちが居たそうじゃん。そして、被害者が経営で苦しんでいたそうだから自作自演だったかもしれないし。

弟：いや、家政婦さんの息子さんも何日前から姿を現していないそうじゃん。そして、いくら大変でもまさか自分の家をあんなふうにするのかな。

姉：まあね。それはそうだけどね。とにかく犯人が宝石なども持って行ったそうだから、それを売って換金しようとしていると思うよ。いつか宝石屋に現れるかも知れないしね。そうしたら、誰が犯人なのか明

らかになるでしょう。

弟：しかし、本当に家政婦さんが犯人だったとすると、これからどうやって家政婦さんを信じたらいいの？

姉：うちは家政婦さんなんて頼むことないから、無駄に心配しなくていいよ。

第14課 回想

<STEP(1) 再び流行るレトロブームの波>

全世界のファッションが一目でわかるパリのファッションショーはもちろんのこと、東京の街や韓国の街の居酒屋まで共通して流行っているものがある。それはつまり、「復古」つまり「レトロブーム」である。実は、この復古ファッション、復古の波は昔からずっと繰り返される現象である。90年代には50、60年代のファッションに熱狂し、最近では80年代の思い出に熱狂している。

芸能人達はいつも未来志向のファッションを追っていたようだが、いつの間にか、ある日から皆、野暮ったいくらいの大きなイヤリング、顔全体を覆うくらい大きな眼鏡、ムースでふかしたようなアフロヘアで注目を浴びている。若者たちは一時期ヒップホップとラップに熱狂していたのに、今は「80年代のディスコ」を聞きながら楽しんでいる。このようなレトロの熱風は外食市場にも例外なく吹いている。

最近お母さん、お父さんの子供時代の教室を再現した飲み屋が人気を呼んでいる。メニューも、昔お弁当のおかずとして好んで食べていた「ソーセージ炒め」、「卵焼き」が実際に使っていたお弁当箱に盛られて出てくる。

自動車ももう手に入れられなくなった昔のモデルが「クラシックカー」という素敵な名前に変えられて人気を呼んでいる。昔なら古い車に乗っていると「けち」と言われたらうけれど、最近では「クラシックカー」を好む「おしゃれな人」と言われる。

家の中にも最新式デジタルテレビの横にダイヤル式電話機、蓄音機、アンテナが付いているラジオが置いてあるほうが、むしろ洗練された新しいインテリアとして脚光を浴びている。これらの全てが、一時期は私達が野暮ったくて古臭いと思って捨てたものだから、驚くべきことではないか。このように昔のスタイルに熱狂することは、現代の複雑な生活から脱して単純な社会へ戻りたいという欲望を反映したものであるかも知れない。

<STEP(2) 会話>

(昔の教室を再現した韓国の居酒屋で日本人と韓国人が話をしている。)

黒田：わ！この居酒屋、とても面白いですね。

ソンミ：面白いでしょう。黒田さんは初めて見るものが多いでしょう。

黒田：そんなことはないですよ。ここにあるもの大半が私の小学校時代に見ていたものですよ。

ソンミ：あら、そうですか。私は、日本は韓国と違うと思っていました。

黒田：ここにあるお菓子知っていますか。わ、これ家の前にあったお店でたくさん買って食べたりしてたけど、本当に久しぶりに見えますね。

ソンミ：あら、私もこれ知っています。私も学校から帰り道で友達と一緒によく食べたりしていました。

黒田：ところで、あれは何ですか。あの暖炉の上に置いてある金色のステンレスの箱はなんですか。

ソンミ：あ、あれですか。あれはお弁当箱ですよ。お弁当を持ってきて、そのまま置いておくと冷たくなってしまふから、ああいうふう暖炉の上に置いておいてから食べるんです。

黒田：あ、そうなんですか。しかし、ああいうふうずっと置いておくと焦げませんか。

ソンミ：だから、ご飯が焦げないようにお弁当の位置を変えてくれる当番がいました。

あのときは母が目玉焼きをお弁当に入れてくれるだけで、あの日は朝から幸せになっていたりしてい

たんだな。

黒田：美味しそうですね。私も一度食べてみたいですね。

ソンミ：私も久しぶりに昔の味が懐かしいですね。あら、このメニューを見ると「思い出のお弁当」がありますが、これ頼んで食べてみましょうか。

黒田：はい、いいですね。私のソンミさんの思い出の味がどんな味なのか気になります。

ソンミ：すみません！思い出のお弁当一つ追加お願いします！

第15課 後悔

<STEP(1) 仕事をするお母さんーワーキングママ>

女性の社会進出が活発になり仕事をする女性が増える中で、(彼女たちの) 出産と同時に仕事をするお母さん、つまり、「ワーキングママ (working mom)」も増えている。ワーキングママ達は子供が幼ければ幼いなりに、成長したら成長したなりに悩みが多い。

職場生活5年目であるチェ・アルム(仮名・29)さんは、最近、真剣に退職を考えている。生後6ヶ月の娘の育児問題のためだ。出産休暇は1年まで申請できるけれど、周りの視線が気になり使い切れなかった。また、仕事を復帰して始めようとしても子供をどこに預ければいいか分からないし、海外研修や海外出張は子供があまりにも幼いのでほぼ不可能であるためだ。とても疲れたあげく「子供をもう少し早く生むか遅く生んでたら……」と後悔することも多い。チェ・アルムさんは最近、仕事からも育児からも取り残されたようで不安である。

小学生の子供を持つワーキングママ、コ・トギユ(仮名・34)さんは今年、一人息子を小学校へ入学させた。それまでは実家のお母さんが面倒を見てくれていたが、今年からは事情が変わった。父母懇談会、給食、教室の掃除など、お母さんが学校でやらなくてはならない事が多くなった。小学校1年生の息子は午前で学校の授業が全て終わる為、午後の時間はすべて塾で時間を過ごす。平日に6ヶ所の塾へ行ってきて、疲れている息子を見ると「私がとっくに仕事を辞めていたら……」と後悔する時もある。

高3、中3の二人の娘がどちらも入試の準備中であるチャ・ミンジョン(仮名・48)さんは職場生活をしながら子供たちの入試対策まできちんと準備する「熱血ワーキングママ」である。仕事の合間にインターネットで入試情報を探してスクラップしておく。それから、入試専門の個人レッスンの先生や授業料が安くて上手に教える塾など「目ぼしい情報」を得る為、他の生徒の両親たちと親しくなろうと非常に努力する。子供の試験の出来が良くないと「私が手伝ってあげなかったからなのかな。私がもうちょっと手伝ってあげればよく出来るのに……」という気がする。チャ・ミンジョンさんは早く二人の子供の入試が終わることを願っている。

子供を産む前から始まった悩みは、子供が大きくなっても終わらない。ワーキングママ達の悩みはいつになったら終わるのだろうか。

<STEP(2) 会話>

(働くママであるパクソヨンさんと専業主婦であるオサンヒさんが話しをしている。)

パクソヨン：最近、疲れて死にそう。

オサンヒ：どうしたの？何かあった？

パクソヨン：会社が終わって、家に帰ったら、子どもの宿題見てあげなきゃいけないし、ご飯の支度しなくちゃいけないし、洗濯しなくちゃいけないし。体が10個でも足りないぐらいだよ。

オサンヒ：大変だよ、本当に。

パクソヨン：たまには会社で退社の支度をしながら、「じゃ、これから家に出勤だね。」と思うときもある

よ。

オサンヒ：それでも、私はあなたが羨ましいよ。仕事も頑張ってもう課長になったし。私もあのときちょっと大変でも続けて勤めていればよかったな。

パクソヨン：私は、あなたが羨ましいよ。子どもが具合悪くても会社行かなくちゃいけないし、家族と一緒に過ごす時間もないし…。仕事は楽しいけど、たまに後悔もするよ。

もっと前に会社を辞めておけばよかったな。今辞めるにはもったいなくてね。

オサンヒ：まあね。私も子どもと一緒に過ごせる時間があることは本当によかったと思うよ。しかし、子どもが大きくなると、私も時間の余裕ができるだろうから、私が好きな仕事を始めてみようと思っているんだ。

パクソヨン：そうよ。何か違うことを始めてみてね。

オサンヒ：うまくできるかな。

パクソヨン：子ども生まれる前に、韓国語教師をやっていたじゃん。韓国語教師なら勤務時間も一般会社より短いし、何よりもあなたが好きだった仕事じゃん。

オサンヒ：しかし、今再び始めるには遅いじゃないかな。

パクソヨン：そうでもないよ。「始めてみれば半分終わったも同じだ」ということわざもあるじゃない。今でも遅くないよ。一旦始めたらうまくできると思うよ。

オサンヒ：そうだね。分かった。あなたも仕事と家族の間で苦しまないで、もっと余裕を持ってみてね。

パクソヨン：そうだね。分かった。お互いに、大変だけど、頑張ってみよう。

第16課 意見

<STEP(1) 早期留学>

韓国では2000年以降、早期留学を準備する学生数が急増している成り行きである。英語を学ぶために早期留学に行く小・中・高生が年間3万5千名に迫り、その費用は約15兆ウォンに至るという教育人的資源部(教育部)の報告がある。昔は主に中・高校生が海外の名門大学進学を目的に留学に行く場合が多かったが、最近では小学校3、4年生から留学に行くケースが増えた。英語を学び、再び韓国に帰ってきて国内の名門高校と名門大学に進学しようとする目的からだ。また昔は、早期留学は一部のお金持ちの話しであったが、最近では平凡なサラリーマンも、子供が世界を舞台にして生きていくことを願う心から早期に留学へ送り出している。

このように早期留学が増加するのは公教育にも問題がある。2006年度、教育部の予算は約32兆ウォンだが、私立の英語教育市場は年間約10兆ウォンに達するという。公教育の競争力が私教育に追いつけないというのが一般的な評価だ。毎月とてつもない私教育費を支出するより、留学に行くほうがましだという子供の親たちの考えが早期留学をさらに煽るのである。

アメリカに子供を一人送る場合、学費と生活費を含めた総費用が年間3千5百万ウォン程で、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドは2千5百万ウォンから3千万ウォン程かかるという。東南アジアは安い費用で、インターナショナルスクールで良い教育を受けられるため、最近注目を浴びている。

しかし、このような早期留学の過熱現象が長く続けば、その結果は見るまでもなく国家的に大きな損害をもたらすに決まっている。教育部の資料によると、韓国人が語学研修のためアメリカへ支出した海外旅行経費は230億ウォンを超えるものと推定される。早期留学が外貨流出と所得による教育格差をさらに大きくしているという。早期留学の過熱現象に対する対策の備えが非常に急がれる時である。

<STEP(2) 会話>

(早期留学を賛成しているキム・ウンギョンさんと反対しているイ・ジェウォンさんが討論をしている。)
司会者：今日は「小学生の早期留学」という主題をもって、討論をしようと思っています。キム・ウンギョンさんは早期留学に賛成している立場だそうですね。

キム・ウンギョン：はい、そうです。グローバル化時代に合わせて、子どもたちも英語を自由自在に駆使しなければいけません。英語を習得するためには中学生になる前に留学した方が一番適切だと思います。

イ・ジェウォン：しかし、英語の能力だけ揃えていて、グローバル化時代に合う専門の人材 になれるのでしょうか。小学生のときは言語を学ぶに一番適切な時期でもありますが、様々な精神的な要素が形成される時期でもあります。小さいころ留学して英語自由自在に駆使できると言っても、精神的な面は欠如されることは知れた事です。

キム・ウンギョン：最近はその面を補うために、お母さんが子どもと一緒に留学を行ったりもします。小学生ぐらいなら、ある程度自立心と独立心を養わなくちゃいけない年でもあるし。

イ・ジェウォン：最近「雁のパパ」という言葉が登場しました。奥さんと子どもは留学しに送っておいて、自分は韓国に残って、お金を稼いで仕送りをしているお父さんたちを称する言葉ですが、早期留学は子どもの未来のための投資だと言われるんですが、家族崩壊現象まで呼び起こすかもしれません。

キム・ウンギョン：それは極端すぎる話です。小さいころから外国で生活をして世界を見る目ができて国際専門人材として成長した例もたくさんあります。

イ・ジェウォン：国内でも十分国際専門人材として成長できます。自分の努力次第なことで、環境のせいばかりしてはいけません。

司会者：お二人の意見ありがとうございました。小学生の早期留学は「コインの裏と表」のようなものだと思います。長所と短所がいつも共存しているものです。早期留学は親の信念がある判断が必要だと思います。では、以上で今日の討論を終わらせていただきます。

第17課 主張

<STEP(1) 青少年犯罪>

数日前、京畿道廣州で起きた事件にとっても驚いた。ニュースによると、18歳になった高校生が、バスで学校の先輩と席争いをしていて衝動的に殺人を犯したというのだ。学校の先輩が、席が窮屈だから他の所へ行けと喧嘩を売りながら先にビンタしたことが喧嘩の原因だという。もちろん先輩の行動が間違っていたと考えられるが、だからといって殺人まで犯すのは驚愕を禁じ得ないことだ。その上、さらに驚いたのは、このような未成年者は殺人を犯したにもかかわらず、成人とは異なり寛大に処罰されるということだ。

現在韓国の刑法上で満14歳以下の子供の場合は、処罰されるどころか処罰対象から初めから除外されており、満14歳以上満18歳以下の未成年者には死刑と無期懲役を執行できず、最高刑も15年の有期懲役までが可能となっている。

ところが、青少年の犯罪は日に日にその様相がひどくなり、現行の処罰対象の範囲をもう少し拡大しなければならないという声が高まっている。韓国では青少年犯罪が毎年増加している現在、18歳以下を未成年として扱い寛大に処罰している。これはむしろ犯罪を煽る要因となりうるため、18歳以下でも成人と同じ処罰を下さなければならないのである。しかし、これに反対する人達は、青少年達がまだ精神的に未熟なために、処罰よりは正しい教育を受けさせることが最大の急務だと主張している。果たしてどちらが正しいのか判断することは容易ではない。

しかしながら、毎年、未成年者の犯罪率は高くなっており、その性格もまた、日に日に凶悪になっている

ことは既に知られている。未成年者に対する処罰が寛大な状況で、青少年の犯罪率が減ることが可能か疑問だ。法律は時代を反映すると考える。それゆえに、今後の犯罪を予防する立場からでも、未成年者に対する処罰はさらに厳格にならなければならない。

<STEP(2) 会話>

(社会人である姉と19才である弟が話しをしている。)

姉：顔どうしたの？

弟：うん、昨日友達が海外へ移住することになり歓送会があって、一杯飲んだのよ。

姉：おい！あなた未成年者がお酒飲んでもいいと思ったわけ？

弟：姉さん。俺いつも飲んでるわけじゃないし。特別なことがあるときだけ、ちょっと飲むだけだから、いいじゃないの。

姉：ダメでしょう。私はね、20歳までお酒の近くにも行かなかったよ。

弟：姉さん、正直に言ってみて。韓国の法律上では今20歳までお酒を飲んではいけない となっているけどさ、大学生になると当然皆飲むの当たり前じゃん。

姉：訳分らないこと言っているね。おい！そうしたら、あなたが法律でも変えるつもりなの？20歳にもなってないくせに。従えと言われたら、そのまま従えばいいじゃん。何でそんなに言い訳ばかり言っているの？

弟：年食っているからって、皆大人なの？姉さんとは話が通じないよ。姉さんも怒るばかりしないで、ちょっと考えてみてよ。

姉：まあね、この間誰かがそう言ってたわ。選挙権も18歳から与えた方がいいって。昔だったら、19歳なら大人と同じだよ。早い人はあなたの同じ年でもう結婚して家庭を築く歳なんだからね。未成年者と言うには歳がけっこう上なのかなと思うこともあるでしょうね。

弟：やっと俺が言いたいのが分かった？私はもう自分が一人前になったと思っているけど、大人から見るとそうでもないみたいだね。

姉：とにかく、お酒を飲むにはまだ早いよ。20歳になるまで我慢しなさい。

第18課 説得

<STEP(1) 幸せ指数チェック>

私の幸せ指数は何点だろうか。

次の質問に答えながら点数をつけてみよう。

幸せ指数の計算法：①の点数+②の点数+(③の点数×5)+(④の点数×3) ＝幸せ指数(総点100点。ただし、各項目は10点満点。)
① 外向的で変化に対して柔軟なほうである。(点)
② 肯定的で、憂鬱な気分から早く脱出して自分自身をよく統制する。(点)
③ 自分が持つ健康、お金、安全、自由などに対して、基本的に満足している。(点)
④ 身近な人に助けを求めることができ、自分の仕事に没頭するほうであり、自ら立てた目標を達成している。(点)

幸せ指数の調査方法は国ごとに異なり、研究方法にも少しずつ違いがあるが、2005年アメリカのある大学で国別の幸せ指数を調査した結果、1位はプエルト・リコ、2位メキシコ、3位デンマークの順であり、韓国は49位、日本は42位、アメリカは15位だった。また、何年か前の調査では、世界で一番貧乏な国の一つであるバングラディッシュが1位を獲得したりもしたが、このような結果は、幸せが経済的要因だけに左右されるのではないということを示してくれる。

これについて、ロンドンのある学者は、経済的な面において人々は、他の人との比較を通して富を感じるため、個人の所得が増えたとしても、国家全体的に所得が増えると、個人は幸せを感じられないと言った。また、アメリカのある研究論文では「所得が高ければ幸せだろうという信念が広く行きわたっていたが、これは錯覚に過ぎない」と述べ、「平均以上の所得を持つ人達は、一層緊張状態にあり余暇などに多くの時間を投資せず、日常生活で一般人より幸せを感じられない」と結論づけた。彼らが幸せのための重要な要件として挙げるのは、まず、家族と友達、そして自分に時間を費やすこと。二つ目に、興味と趣味を持つこと。三つ目に、密接な対人関係を結ぶことなど、経済的な部分よりも人間関係や生活満足度に関することがほとんどであった。

幸せは誰もが望むものだ。幸せのための色々な条件。あなたはこの条件に共感するのか。人間が感じる幸せは個人によって異なる。それゆえ幸せな人生を生きる為の条件とは必ず決まっているということではないだろう。これから自らの幸せの為の条件をつくり、自分だけの幸せ指数をチェックしてみるのはどうだろうか。

<STEP(2) 会話>

(家族との約束を破った夫に妻が怒っている。)

(ちりりん)

妻：もしもし。あなた、タヒちゃんがやったのよ！韓国大学に首席で合格したって！

夫：お！本当に？すごいね、うちの娘。あの大変な入試を頑張ってやり遂げた甲斐があるよね。じゃ、今日は早く帰って、お祝いパーティーでもしなくちゃね。

妻：そうだね。今日は早く帰ってきて下さいね。美味しいもの作って待っているよ。

(夜遅く夫が帰宅した後)

妻：どうしたの？さっきは電話で早く帰って来るって言っていたのに、連絡もしないで、こんなに遅くなるなんてどういうつもり？

夫：ごめん。急に接待があつて、仕方なかったよ。

妻：だからと言っても、本当に酷いよ。タヒちゃんと私、どれだけあなたを待っていたか分かる？早く帰れなさそうだったら、電話で一報でもくれればいいじゃん。あなた本当に思いやりがないわ。

夫：俺だって、連絡したくないから連絡しなかったわけじゃないよ。退社しようとしていたら、会長が急に一緒に行こうと言って来たから、拒むわけにも行かないし。会長が隣にいるのに、家に電話なんてできるわけじゃない。あと、俺だけのためにやっていることじゃないよ。全部うちの家族のためにやっていることなんだから、あなたが理解してくれないと。

妻：あなたは家族より仕事の方が大事だと言っているわけ？ちょっとだけ席から抜けて、電話一本くれることがそんなに難しいの？そんなに働いて、いくらお金をたくさん貯めたって、何が幸せなの？家族が一緒に集まって食事もできないのに。

夫：そうだね。あなたが言っていることが正しいよ。ちょっとだけでも時間を空けて、俺が電話するべきだったけど、待たせてごめんな。今度からは気をつけるよ。

妻：いいえ。私こそ苦勞して仕事して来た人にうるさく言って、ごめんね。でも、私たちはあなたが一緒に居てくれる時が一番幸せだから、もう少しだけ、気使ってくれる？

夫：うん、分かった。これから頑張るよ。

第19課 理由

<STEP(1) 男と女、なぜ違うか>

男女が恋愛をしていると、誰もが一度ぐらいはもめたり喧嘩したりすることがあるだろう。その理由は「相手が私の心を分かってくれないから」、または「到底理解できないから」など、お互いに対する理解不足から生じる場合がほとんどであろう。それでは男女の関係維持の為にはどのようにするのが良いだろうか。

ここに、このようなことをすっきり解いてくれる面白い本が一冊ある。

<火星から来た男、金星から来た女>

この本は、既に全世界的にベストセラーになり多くの読者達に好評を得ている。著者ジョン・グレイは心理学を専攻した博士で、この本を通して愛と人生についてのビジョンを示している。

本の題名どおり、男と女は火星と金星という異なる惑星から地球に来た人達だという前提のもとで話が展開される。彼らは地球でお互い恋に落ちるが、相手との葛藤を経験しながら男と女は言うこと、感じること、行動することなど、全ての点において元々違う存在であるということを認識するようになる。

例えば、男は「目標志向的」で、女は「関係志向的」だという。つまり、男には目標が重要なため、関係を犠牲にしてまで成功に執着する。反面、女は関係を重視するため、愛する人や友達との円満な関係から幸せを感じる。それで、女は悩みができた時は友達とたくさん語り合いながらストレスを解消するが、男はむしろ普段とは違い、口数が減る場合が多くなる。このような状況をこの本では<男は自分の洞窟に入り、女は話をする>と表現している。この時、女が男を洞窟から引っ張り出そうとしたり、自分を愛していないと怒ったりすれば、男はもっと深い洞窟の中へ入るだけである。目標志向的な男は自ら問題を解決しようとするため、女はその時まで待ってあげれば良いのである。それから男は関係志向的な女のために、話を聞いてあげる努力が必要だ。このように男と女の異なる点をお互い変えようと努力するよりは、ありのままを認めようと努力するからこそ、さらに幸せに、共に生きていくことができるだろう。

<STEP(2) 会話>

(先週、友達に男性を紹介してもらった女性が友達と話をしている。)

テヒョン：この間の紹介どうだった？あいついいでしょう。

スイン：まあね、悪くはなかったわ。あの時、調子が悪くて、私の代わりに友達を行かせようかなと思っていたけどね。

テヒョン：あの日、楽しかったと聞いているのに、どうしたの？ところで、あいつが何だった？

スイン：何だったって。私に会ってすぐ印象がいいと言っていたよ。私はよくそう言われるじゃん。あと何と言っていたっけな。私の話が面白かって。

テヒョン：あいつはちょっと静かな人が好きだと思っていたけどね。

スイン：ううん。自分は私のような面白い女の子が好きだと言っていたよ。

テヒョン：そう？それで、その後、また会ったの？

スイン：ううん、あの日連絡先を教えてくださいと言われて、教えてあげたよ。忙しいことが終わったら、連絡するって言っていたよ。私が先に連絡してみようかなとも思ったけど、連絡ほしい人が先に連絡するべきでしょう。

テヒョン：また、始まった。私があいつよく知っているけどね、それ君の勘違いだと思うよ。

スイン：何が？

テヒョン：あいつが君を褒めたのは君が傷つかないように言ったリップサービスだよ。忙しいと言っているのも言い訳だよ。君は男を知らなさ過ぎる。

スイン：それ、どういうこと？

テヒョン：よく考えてみてよ。女性に嫌いですと恥をかかせることはできないじゃん。

スイン：でも、なんで私に連絡先は聞いたの？

テヒョン：それはマナーだからだよ。私も紹介してもらった人にいつも電話番号聞くよ。

だからと言って、皆に全部連絡するわけではないよ。好きなら、その日の夜すぐでも電話はするけど。

スイン：何だった？私一人だけ勘違いしていたじゃん。

第20課 変化

<STEP(1) 韓流>

1996年、韓国のテレビドラマが中国に輸出され、旋風を巻き起こし、これをきっかけに中国で韓国大衆文化の熱風が起こり始めた。このような韓国大衆文化の熱気を表現するため、中国言論が「韓流、Korean Wave」という言葉を使い、この言葉は韓国に逆輸入され日本および他の国でも使われるようになった。

日本では2004年NHKで『冬のソナタ』が放映されたことを起点に「韓流ブーム」が起きた。『冬のソナタ』はそれ以後、大きな波紋を呼び起こした。特に50・60代の女性達の間で『冬のソナタ』は失われた昭和の情緒を取り戻してくれるという理由で人気を呼び、一つの社会現象にまでなり注目を集めた。実際に韓流ブームが起こる前まで、日本での韓国の立場はととも微弱だった。しかし2002年、日韓ワールドカップ共同開催を起点に、韓国に対する関心が少しずつ芽生え始め、その導火線となったのが『冬のソナタ』だった。その前には「焼き肉とキムチ」でしか知られていなかった韓国という国を、もっと身近に感じさせてくれるのが韓国のドラマと映画、歌謡だった。

これと共にキムチ、コチュジャン、ラーメン、化粧品など韓国関連製品の選好現象まで起こった。また、大衆文化の受容次元を超えて、韓国の歌手、映画俳優、タレント、ひいては韓国人と韓国自体に愛情を感じ、韓国語を習おうとする人達まで増加した。韓国を訪問する日本人観光客も大幅に増えて2005年には前年比

35.5%も増加した244万3千人に達したという。

2004年「韓流」で始まった小さな「ブーム」は現在一つの文化ジャンルとして位置づけられていると言える。特定のドラマと特定の俳優に集中していた関心は、韓国と韓国文化全般に対する関心が変わっている。このような関心が「近くても遠い国」だった韓国と日本の距離を少しずつ縮めていっている。文化に対する関心は人と人の距離を縮め、お互い理解できるきっかけを与えてくれる。

「韓流」が人と人の間にも小さな流れを作り、韓国と日本が「近くてもっと近い国」に発展していくことを願う。

<STEP(2) 会話>

(韓国語を習っている日本人の生徒同士が、韓国語勉強によって変わった自分の変化について会話をしている。)

柴田：藤井さんは韓国語を勉強してからどれぐらい経ちますか。

藤井：もう3年も経ちますね。

柴田：私と同じぐらいですね。韓国語を勉強してみて、いかがですか。

藤井：私は何年前かにドラマがきっかけで、韓国語に興味ができました。そのときちょうど何か習い事でもしようと思っていたところだったので、韓国語を習い始めたんですが、本当に楽しかったです。特に私は韓国の女性が語尾に「～ヨ」と言うのが可愛いと思います。

柴田：そうですね。私は韓国語のイントネーションがとても可愛く感じます。私は仕事のために韓国語を習い始めました。初めは仕方なく始めたんですが、勉強すればするほどだんだん韓国語が楽しくなってきたんです。それで、今まで続けているんです。

藤井：そうだったんですね。実は私も韓国にはあまり興味がない方だったんです。韓国と言えば、キムチぐらいしか思い浮かばなかったです。しかし、韓国語を勉強し始めて、韓国の文化も知るようになったし、世代や職業も違う人々と付き合い始めて、顔が広くなったような気がします。

柴田：そうですね。正直私は小さいころから勉強って大嫌いだったんですよ。でも、韓国語を勉強しながら、「勉強ってこんなに楽しくもできるんだな。」と知りました。今は韓国語の勉強が楽しくて、暇さえあれば、単語を覚えたり、韓国の本を読んだりしています。たまに、こういう自分が面白いなと思うときもあります。

藤井：本当にそうでしょうね。3年前までは、私たちがこんなに韓国にハマると誰も知らなかったわけじゃないですか。本当に面白いですね。

柴田：はい。それでですね、実は私今年の秋、会社を辞めて、韓国へ一年ぐらい留学しに行くつもりです。

藤井：本当ですか。すごいですね。柴田さんなら韓国での留学生活もきっとすばらしくやり遂げると思えますよ。韓国から帰ってきたら、私にも韓国語教えて下さい。

柴田：ハハ。教えられる実力を身につけるように頑張らなくちゃですね。